

# 植生基材マット ガンバンマットI型

適用土質	砂質土	粘質土	礫質土	岩塊 玉石※	軟岩I		軟岩II
	●	●	●		A	B	
	●	●	●	●	●	●	

※岩塊・玉石まじり土で、その部分が30%程度のもです。



軟岩のり面でも  
緑化が可能です！



## 確実な緑化が可能！

大型の植生基材袋を10cmピッチで装着した厚みのあるマットで、硬質土や風化軟岩地でも長期にわたり安定した緑化が可能です。

## 安定した植生基盤

植生基材袋により等高線状の小段を形成しますので、表層の微粒土壌や植生基材の移動・流失を防止し、安定した植生基盤を築きます。



## 標準規格

製品名	製品規格			ネット			1袋入数
	幅	長さ	植生基材袋間隔	素材	形状	色	
ガンバンマットI型	1m	3m	10cm	ポリエチレン	2重編ネット	ディープグリーン	3m <sup>2</sup>

(注) ブラワッシャーは含んでいません。

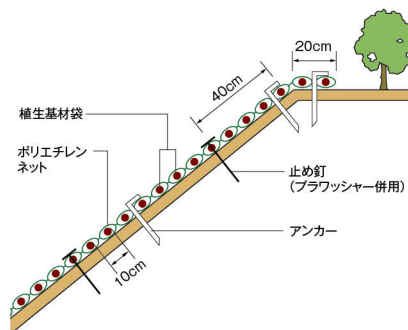
## 施工手順

- のり面の雑草木、浮土砂、浮石などを除去し、マットが密着するよう清掃を行う。
- のり肩部を20cm程度巻き込み、ネット目合いが粗い面をのり面へ密着するように展開する。
- 左右の重ね幅は2cm程度、上下の重ね幅は10cm程度とする。
- マットは植生基材袋を等高線状に展開する。
- 所定本数のアンカー・止め釘を規定の間隔・箇所に打ち込み密着させる。

注1) 降雨・強風時の施工は避けてください。

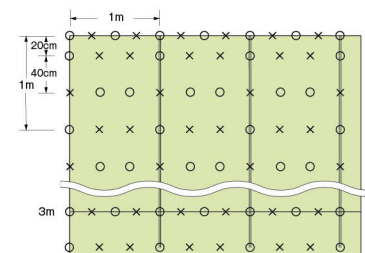
- 日陰で風通しのよい乾燥した場所に保管してください。

## 標準断面図



## 標準打設図

- アンカー (φ9mm×200mm)
- × 止め釘 (ブラワッシャー併用) 150mm



100m <sup>2</sup> 当たりの本数 (10×10m)	アンカー・止め釘規格、打込み位置については標準として示しておりますので、現地条件に合わせて適宜対応してください。
○ φ9×200mm	438本
× 150mm	470本



植生基材マット

# ガンバンマットⅡ型

適用土質	砂質土	粘質土	礫質土	岩塊 玉石※	軟岩Ⅰ		軟岩Ⅱ
	●	●	●		A	B	
	●	●	●	●	●		

※岩塊・玉石まじり土で、その部分が30%程度のものです。



軟岩のり面でも  
緑化が可能です！

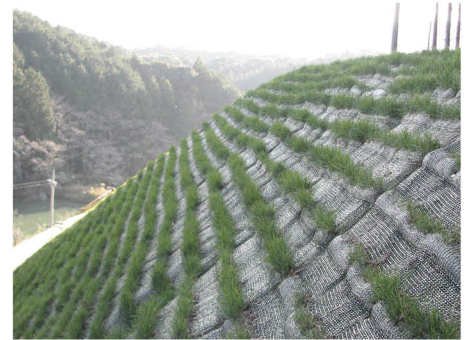


## 確実な緑化が可能！

大型の植生基材袋を20cmピッチで装着したマットで、硬質土や風化軟岩地でも長期にわたり安定し、植生基材吹付と同等の緑化効果があります。

## 安定した植生基盤

植生基材袋により等高線状の小段を形成しますので、表層の微粒土壌や植生基材の移動・流失を防止し、安定した植生基盤を築きます。



## 標準規格

製品名	製品規格			ネット			1袋入数
	幅	長さ	植生基材袋間隔	素材	形状	色	
ガンバンマットⅡ型	1m	5m	20cm	ポリエチレン	2重編ネット	ディーブグリーン	5m <sup>2</sup>

(注) ブラワッシャーは含んでいません。

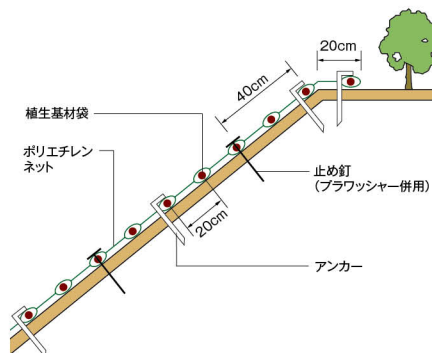
## 施工手順

- のり面の雑草木、浮土砂、浮石などを除去し、マットが密着するよう清掃を行う。
- のり肩部を20cm程度巻き込み、ネット目合いが粗い面をのり面へ密着するように展開する。
- 左右の重ね幅は2cm程度、上下の重ね幅は10cm程度とする。
- マットは植生基材袋を等高線状に展開する。
- 所定本数のアンカー・止め釘を規定の間隔・箇所に打ち込み密着させる。

注1) 降雨・強風時の施工は避けてください。

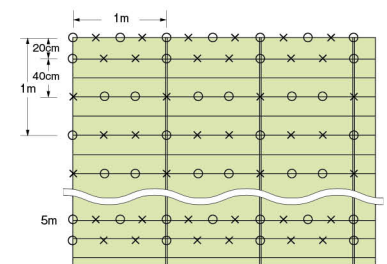
- 日陰で風通しのよい乾燥した場所に保管してください。

## 標準断面図



## 標準打設図

- アンカー (φ9mm×200mm)
- × 止め釘 (ブラワッシャー併用) 150mm
- 植生基材袋



100m <sup>2</sup> 当たりの本数 (10×10m)	
○ φ9×200mm	425本
× 150mm	432本

アンカー・止め釘規格、打込み位置については標準として示しておりますので、現地条件に合わせて適宜対応してください。